

平成27年度（上半期）

群馬県立都市公園指定管理者評価報告書

【群馬の森】

平成27年9月

群馬県立都市公園指定管理者評価委員会  
事務局：群馬県県土整備部都市計画課

# 目 次

1. 指定管理者制度の概要と評価の目的 .....	1
2. 群馬県立都市公園指定管理者評価委員会 .....	2
(1) 評価委員会の概要 .....	2
(2) 評価方法 .....	2
(3) 評価基準 .....	3
(4) 評価委員会実施状況 .....	3
3. 公園指定管理者の総合評価結果 .....	3
(1) 評価結果 .....	3
(2) 評価総評 .....	4
4. 公園指定管理者の細目評価結果 .....	5
(1) 群馬の森 .....	5

## 1. 指定管理者制度の概要と評価の目的

公の施設の管理に民間の知識・能力を活用して住民サービスの向上を図るとともに、経費の節減を図ること等を目的に平成15年の地方自治法（昭和22年法律第67号）改正によって「指定管理者制度」が導入され、従来、公社・事業団等に委託先が限定されていた公の施設の管理について、民間事業者も管理運営主体となることができることとなった。

これに伴い、平成18年度から群馬県県土整備部が所管する供用中の4県立都市公園においても、指定管理者制度を導入した。

指定管理者の業務内容については、公園管理者と指定管理者との間で締結された協定書及び仕様書に基づき履行確認がなされているが、指定管理者制度は、公の施設を一定の裁量を付与した上で民間事業者へ委ねる制度であり、履行確認のみならず、管理・運営に対する適切な評価・モニタリングが重要となる。

「群馬県立都市公園指定管理者評価委員会」（以下、「評価委員会」という。）は、第三者の立場から指定管理者の業務実施状況を客観的に評価するとともに、今後の業務改善に反映させるために設置されたものである。

- ※公園管理者：公園を設置管理する者（群馬県県土整備部都市計画課・土木事務所）
- ※指定管理者：群馬県公の施設に係る指定管理者の指定の手續等に関する条例（平成16年群馬県条例第50号）第6条に基づき知事が指定した公園を管理運営する者。

以下に、評価の対象となる県立都市公園及び指定管理者の一覧を示す。

### ■ 県立都市公園一覧

公園名	敷島公園	群馬の森	金山総合公園	観音山ファミリーパーク
公園種別	運動公園	総合公園	総合公園	広域公園
公園の供用開始	大正11年10月 供用開始	昭和49年10月 供用開始	平成3年5月 供用開始	平成15年5月 供用開始
	昭和58年6月 現形	昭和56年3月 現形	平成8年5月 現形	平成18年9月 現形
供用面積	17.8ha	26.2ha	18.7ha	60.3ha

### ■ 群馬県立都市公園指定管理者一覧

公園名	指定管理者	指定期間
敷島公園	敷島パークマネジメントJV	H27.4.1～H30.3.31
群馬の森	グリーンクラフトマン（株）	H25.4.1～H28.3.31
金山総合公園	山梅造園土木・ケービックスグループ	H27.4.1～H30.3.31
観音山ファミリーパーク	NPO法人KFP友の会	H27.4.1～H30.3.31

※  は本報告書の評価対象公園

## 2. 群馬県立都市公園指定管理者評価委員会

### (1) 評価委員会の概要

○評価委員会は、対象となる全公園について総合的に評価を実施する本部委員と、公園利用者の視点でそれぞれの公園のみの評価を実施する地元委員により組織される。群馬の森の委員の構成は下表のとおり（敬称略）。

本部委員	地元委員（群馬の森）
委員長 小林 享 （学識経験者）	松田 百合子
委員 ・南 賢二 （学識経験者）	熊谷 晃
・大谷 祐三 （社会保険労務士）	野尻 浩
・田村 實 （中小企業診断士）	
・石澤 知子 （一級造園施工管理技士 一級建築士）	
・仲野 尚美 （群馬県女性団体連絡協議会理事、ぐ んま地域活動連絡協議会長、群馬県 少子化対策推進県民会議委員）	

### (2) 評価方法

以下二点の方法により、評価を行った。

- ① 現地調査及び指定管理者ヒアリング（平成27年度第2回評価委員会）
- ② 「指定管理者によるセルフモニタリング」及び「県によるモニタリング」の確認（平成27年度第1四半期モニタリングシートの確認）

また、評価項目は以下のとおり。

#### ■評価項目

##### ○維持管理業務

- ① 清掃点検（屋内部分：建物・トイレ等）
- ② 清掃点検（屋外部分：園路・駐車場・広場等）
- ③ 清掃点検（休憩施設：ベンチ等）
- ④ 清掃点検（遊具） ※敷島公園以外
- ⑤ 清掃点検（競技施設） ※敷島公園のみ
- ⑥ 植物管理（中高木）
- ⑦ 植物管理（低木）
- ⑧ 植物管理（芝生）
- ⑨ 植物管理（花壇）
- ⑩ 斜面地・園路沿いの植栽 ※金山総合公園・観音山ファミリーパークのみ

##### ○運營業務

- ① 利用実績・運営企画
- ② 広報・広聴
- ③ 県民の参画

##### ○自主事業

- ③ 総合評価 各公園の特色を考慮のうえ、評価項目ごとの重みの違いを勘案し、公園管理・運営状況を総合的に評価したもの

### (3) 評価基準

下表の基準により、4段階で評価を行った。

評価	説明
A	仕様書等に基づいて立てられた事業計画どおりの成果・実績があり、加えて施設設置目的及び指定管理業務の向上に向け、独自の創意工夫をしている。
B	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行が、ほぼ満足されている。
C	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行すべき事項の中に、取り組みの弱いものがある。
D	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の内容に不履行がある。

### (4) 評価委員会実施状況

年度	回数	日時	場所	内容
H 2 7	第 1 回	平成27年5月22日	県庁	・評価委員会設置目的及び各公園の概要等の説明
	第 2 回	平成27年7月9日	群馬の森 観音山ファミリー パーク	・現地調査 ・管理運営方針確認 ・事業計画書確認 ・モニタリングシート確認 ・本部委員と地元委員の意見交換
		平成27年7月22日	敷島公園	
		平成27年7月24日	金山総合公園	
	第 3 回	平成27年9月1日	県庁	・群馬の森平成27年度（上半期）評価及び平成25～27年度総括評価の確定

## 3. 公園指定管理者の評価結果

### (1) 評価結果

県立都市公園名	27年度上半期 項目ごとの総括評価※1	27年度上半期 総合評価※2
群馬の森	A	A

※1 項目別の評価結果は、「4. 公園指定管理者の細目評価結果」に記載。

※2 総合評価とは、公園の特色を考慮のうえ、評価項目ごとの重みの違いを勘案し、総合的に評価したものである。

## (2) 評価総評

○項目ごとの総括評価は「A」で、評価項目ごとに良好な管理・運営がなされたと評価できる。

○総合評価では、評価結果は「A」であり、公園管理全体をみても良好な管理・運営がなされたと評価できる。

○自然が豊富な公園で樹木の管理等を良好に行い、また、公園の特徴を生かした企画等を行っている。

#### 4. 公園指定管理者の細目評価結果

##### (1) 群馬の森

評価基準	「A」	仕様書等に基づいて立てられた事業計画どおりの成果・実績があり、加えて施設設置目的及び指定管理業務の向上に向け、独自の創意工夫をしている。
	「B」	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行が、ほぼ満足されている。
	「C」	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の履行すべき事項の中に、取り組みの弱いものがある。
	「D」	仕様書等に基づいて立てられた事業計画の内容に不履行がある。
	「-」	評価対象外

評価項目	評価	総括評価(項目ごと)	総合評価	個別意見・個別指摘事項等			
				評価できる点	今後検討すべき点		
維持管理業務	屋内	B	A	A	<p>○日当たりの悪い薄暗いトイレが多い中でよく管理している。</p> <p>○清潔なトイレを維持し、計画以上の清掃を行っている。</p> <p>○スイーパーで効率よく園路清掃が行われ、悪天候後の来園者が多い土日には早朝より清掃が行われている。</p> <p>○季節によるベンチの移動が行われている。</p> <p>○限界的な状況の中で、よく管理している。</p> <p>○倒木の際には早急な対応が行われ、倒木対処がしっかりなされている。</p> <p>○利用者の少ない月曜日、または、閉園時間内にプロの仕事をしている。</p> <p>○危険木の発見に努めている。</p> <p>○刈り込みを計画以上に行い、景観が美しく保たれている。</p> <p>○藤岡北高によるどんぐり花壇の植栽、やるベンチャーによる中学生の植栽で利用者を楽しませている。</p>	<p>○背もたれ付きのベンチ数の増数と適正配置が課題。</p> <p>○破損のベンチ、テーブルがかなり多く見られるので、撤去するなどの対処をしてほしい。</p> <p>○県との調整により改修に努めてほしい。</p> <p>○芝生の状態は悪化している。</p> <p>○指定管理者の花壇に努力があまり感じられない。</p>	
	屋外	A					
	清掃点検	B					
	遊具	A					
	競技施設	—					
	植物管理	中高木					A
		低木					A
		芝生					A
		花壇					B
	斜面地・園路沿いの植栽	—					
運営業務	利用実績・運営企画	A	A	A	<p>○特徴を活かした各種イベントがよく実施されている。</p> <p>○クラフトフェア・森のオーケストラ・フラダンス・青空ヨガ・ウォーキング・ジョギング教室・ツリーイング・ウェルク物品販売・森の工作教室など森の公園の一部の景色になっていて、とてもよかった。</p> <p>○雨天時も安心できる工作教室までの道のりもおしゃれになった。</p> <p>○情報発信は努力が感じられる。</p> <p>○以前は森公園の情報が掲載されていると珍しい感じがあったが、今では定期的にイベント情報として掲載されたり、地元の見聞板からSNSと幅広く発信されている。</p> <p>○HP、広報誌等で発信している成果として、自主事業も多数の参加者が来場している。</p> <p>○ボランティアの参加を積極的に行っていて、努力が感じられる。</p> <p>○中学生のやるベンチャー、高校生の職場体験、大学生のクラフト教室のフォロワーから社会人の俳句教室と幅広い年齢層が参加している。</p> <p>○ボランティア希望団体を積極的にむかえている。</p>	<p>○多くの中高年が散歩だけで帰っているので、公園の魅力を増やしてほしい。</p> <p>○公園の目的に合致した方策があるともっとよい。</p>	
	広報・広聴	A					
	県民の参画	A					
自主事業	A	A	A	<p>○様々な事業を積極的にされており、今後も継続していつてほしい。</p> <p>○来園者からの希望によるジョギング教室、ノルディックウォーキング教室、ヨガ教室は新たな森の景色を生み出している。</p> <p>○工作室の設置とクラフト体験により、幅広い年代を取り込んでいる。</p>			
その他				<p>○花のゆりかごプロジェクトでの説明は親しみのある説明でよかった。</p> <p>○働いている人が公園を愛しているというのを感じ取れる。</p> <p>○天候の変動、老木の多い公園で、造園業のプロの仕事をしてきている。</p>	<p>○シラカシの間伐方針と空間の利用方針を早急に決める必要がある。</p> <p>○樹木の豊かさ・自然・環境の大切さがわかるような施策があるとさらによい。</p> <p>○ひよろのシラカシの繁茂とコケだらけの公園を維持管理できるよう早急に公園の森部分の管理方針を定める必要がある。</p>		